

風 だより 54

YUHOKAI KAZEDAYORI
Quarterly 2005 New Year Issue

—2005年新春号—

目次:

年頭のご挨拶	
友朋会理事長 2
ものわすれメンタルクリニック院長	... 3
酉年生まれの抱負 4~7
ハタチの抱負 8

友朋会



医療法人財団 友朋会
理事長 中川 龍治

年 頭 の

友朋会 平成17年の行動指針と目標

皆様、あけましておめでとうございます。

本年も、どうぞ、よろしく願い申し上げます。また、新しい年におけます皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、友朋会の今年の行動指針は以下の二つです。

1、『結果を出す』

2、『連 携』

今年は目標とせず、行動指針としました。敢えて、二つの指針についての説明はいたしません。職員の皆さん、一人ひとりが何について『結果を出す』のか、そして、何を、どう『連携』するのか、各自で答えを出して今年の目標としていただきたいと思います。

なお、平成17年の友朋会の事業目標・事業計画を以下の通りといたします。

- 1、 病院機能評価の認定更新
- 2、 児童・思春期外来のオープン
- 3、 開院40周年記念行事の開催
- 4、 管理職におけるマネジメントネットワークシステムの構築とマネジメント研修システムの確立
- 5、 サーバー設置による院内情報共有化
- 6、 放射線科の放射線情報システムのデジタル化
- 7、 診療録管理体制の完成と図書室機能の充実
- 8、 社会復帰部門にACT方式のチーム医療・ケアマネジメントの導入と医療観察法の理解
- 9、 個人情報保護法に基づく体制作り
- 10、 システムの見直し: 歯科、芸術療法科、理学療法科、総務課、医事課

本年は三位一体改革など、医療業界にも大きな影響が予想されます。我々は、一致団結して本物の医療を提供するだけです。

中川 龍治

ご挨拶

ものわすれメンタルクリニック
院長 芹川 佳代



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

早いもので、この春で福岡にクリニックが開設され、また私がクリニックに勤務させて頂いて7年目を迎えます。

治せない病気・痴呆症に、外来・デイケアという立場で関わって7年目。痴呆症を発症した方が自宅で日常生活を継続するという事は、日々様々な問題が起こってくるということを学んできました。その為、痴呆症は根治療法が未だ確立されていない疾患ですが、精神症状に対する薬物療法以外にも、実に沢山の事を、ご本人やご家族の方と一緒に考えていかなければならないと実感しています。

そこで年頭にあたり、クリニックが痴呆専門の施設として、今年重点的に取り組みたいと考える事柄についてまとめておきたいと思います。

1) 痴呆症の治療

現在ワクチン療法などの研究をはじめ、より根治療法に近い研究が進んでいます。クリニックもアルツハイマーの遺伝的危険因子同定のための研究に参加しており、治療・予防研究に貢献し、将来患者様に還元できるようにと考えます。また現在できる治療法や、それ以外の有益とされる運動・栄養などの情報、リハビリの方法、将来考えられる治療法の情報提供などを受診された方へ適切に行っていく必要があります。また、在宅患者様の精神症状への薬物療法について、昨年精神科ドクターが2名新たに勤務いただくようになったこともあり、これまで以上活発に意見交換をし、よりよい治療を目指す必要があると思います。達成のための勉強とディスカッションできる時間確保が今年の目標です。

2) 痴呆性高齢者の安全に関わる問題

在宅生活で重要なことの一つは患者様の安全確保だと思います。火の元対策、迷子防止、金銭管理問題(契約などの問題)、健康面(摂食・服薬)問題、家庭内暴力…など安全面に関する問題は様々に発生します。環境調整の方法やそれらに対応できるシステムの提示を主に充実させたいと考えています。

3) 痴呆性高齢者の権利や法律的な問題

御存知のとおり成年後見人制度が施行され、クリニックでも、昨年初め頃より制度の利用に関する問い合わせや、実際に利用される方が急増しております。十分な対応ができるように、専門的知識を深める必要があると思います。

4) ネットワークの強化

クリニックは外来診療、通所リハビリテーションを行っていますが、多くの痴呆患者様は在宅生活を継続していく中で、その他の介護サービスの利用や入院医療の利用が必要になってきます。周辺の介護関連施設や、医療施設との連携は不可欠です。必要に応じ適切に紹介をするためには、周辺施設をよく知る必要があります。クリニック以外の施設の活動を知ることはクリニックの医療・デイケアの特性を再認識する機会にもなると思います。

以上四つの事を具体的に挙げてみました。まだまだすべきことは沢山あると思いますが、私自身が友朋会の一員として、またクリニックが友朋会の一部門としての自覚を持ち、専門クリニックとして、地域で役割を果たせるように頑張っていきたいと思います。

酉年の抱負

酉年生まれの方々に今年の抱負を語っていただきました。



■作業療法科 永尾 弥生

私にとって去年は国家試験や卒業、就職と慌ただしくも充実した1年でした。入社して半年が過ぎ、働いている実感や自覚も出てきました。今年はいい意味で慣れず、初心を忘れずに楽しく働きたいと思っています。また、患者様を中心に他職種の方と連携したチームアプローチについて学び、実践できたらと思います。その為にもOTだけでなく他職種の専門性や業務を知り、協力して患者様により質の高い生活支援ができるよう取り組みたいです。

■朋寿苑 福重 多美



友朋会に入社してから16回目の新年を迎えます。思い起こせば入社当初は慣れない業務、介護の知識、技術の習得の日々で目まぐるしく、気が付けば16年あっという間に過ぎた様に感じます。今年はいい年女!気持ちはいつまでも若いつもりでしたが、体は正直なものでガタガタと…。これまで以上に自身の健康管理に努めながら、愛情を持って介護の仕事をやっていこうと思います。



■福祉ホーム 中島 守康

今年で入社し36年目になりますが、管理部より福祉ホームの勤務となり現在4年目となります。福祉ホームの入居者の方々の生活面の援助や将来の話や、デイケアや授産などに一緒に参加することでコミュニケーションを図っております。また、入居者も高齢になりつつあります。私も普段の健康のためにウォーキングやスポーツにと体を動かし、体力を維持しています。今後も入居者の方が一日も早く社会復帰に向け希望を持って生活できるように願っております。

■保育園 成松 篤子



乳幼児の大事な時期を預かる保育園としての役割は大きく日々責任の重さを感じています。保育士としての私自身の目標は、「子供たちの思いやりの心を育てる」という事です。与えられた環境の中、子供たちに何をしてあげられるか常に頭に入れ行動しています。他の保育園と違い同年齢児が少なく縦割り保育が重視される中、優しさを育てる保育をモットーに、病院内というすばらしい環境の中、高齢者の方々とのおふれあいを通しながら子供たちが学んでもらえたらと思います。18年間勤務させていただき大好きな子供たちと接する仕事が出来て本当に幸せに思い感謝でいっぱいです。子供たちの健やかな成長を一番に願い、今後も一層頑張っていきたいと思っています。日々の努力と勤勉に努めたいと思います。



■南2病棟 中島 泰彦

昭和32年10月20日生まれの本年48歳。本人いたって健康。
平成17年度の抱負は、「心技一体」。私の「心=精神」「技=技術」であり、仕事・子育てと、より一層自分自身に磨きをかけ心技一体を目標に頑張っていきたいと思います。

■西3病棟 山口 由起子



今年の私の抱負は、今の自分を好きだなと思えるように、すべての面で充実した生活を送っていくことです。社会人として早いものですでに4年を迎えようとしており、この3年間様々な学びや日々の反省もあり、自分の未熟さが実感できました。もともと積極性の足りない自分でもあり、周りの同世代の人と比べていつも自分が劣っているようにしか思えず、考え込む事も多くありました。そんな色々な想いもあり、今年の抱負として様々な分野に目を向けいろんな事を習得したいと思います。



■訪問看護ステーションまごころ 石橋 身江子

平成17年で友朋会が創立40周年を迎えますが、私も友朋会に入社し10年目に突入します。公私共に節目の年となりました。「年女」としての抱負を書くように勧められ書くのが苦手なので困っていましたが、これをきっかけに今までのことを振り返ると共に、今後に向けて考えるいい機会を与えて頂いたと思います。現在、友人の紹介で和太鼓を習い始め、いつの間にか5年目となりました。私にとっての太鼓はリフレッシュでき、仕事への活力となっています。多くの人に太鼓の素晴らしさを伝えることが出来るように腕に磨きをかけ、今後も、毎日が充実した生活を送れるようにがんばりたいと思います。

■保育園 浜崎 セイ子



あけましておめでとうございます。
今年の干支は酉で、私の大当たり年であります。3回目の成人式を迎えるというウキウキですが、還暦が長寿の祝いのひとつとなると、何だか嬉しいような、もうこんな年になったのかと複雑な気持ちでもあります。生まれた年の干支にもどることから、赤ちゃんに還る「本掛還り」とも言われております。初心を忘れずに、やさしいパパー酉で羽ばたいて行こうと決意を新たにしているところです。今後ともよろしくお願ひ致します。



酉年の抱負



■薬剤科 渕 晃

薬剤科で勤務するようになって半年が経ちました。入社した当初は薬剤棚の一覧表を持ち歩いて業務を覚えることに必死な毎日でしたが、最近では薬局の先生方のご指導のおかげで充実した毎日が過ごせています。現段階では薬局での調剤が主ですが、今後は薬剤師として直接患者様と接することになるので、今の自分に何ができるかを考え、自分の未熟さを痛感しながら日々精進していきたいです。また、当院では患者様のケアに他のスタッフの方々と連携して積極的に関わることができ環境にあるので、今後その手助けができるように関わっていきたいです。

■中央2病棟 山田 かおり



新年おめでとうございます。入社して今年で18年を迎えます。

入社以来、入院、結婚、出産、育児等を経験しながら人生観、看護観共に豊かになり、充実した毎日を送っています。平成16年度は、セーフティマネージメントの院内研修に参加させていただきました。その中で、安全を意識して看護を提供する重大さを再認識しました。

今年度は、中堅サースとして後輩達を指導する役割を果たす為にも、自分自身を高めるため院外研修への参加等、学ぶ姿勢を継続して安全で愛情のある看護を提供します。公私共に楽しく充実した日々を送りたいと思います。



■総務部 福田 哲顕

謹賀新年皆様健やかに新年お迎えの事と存じます。今年は当会は輝かしい40周年、地元に愛されるリーディングホスピタルとして確固たる基盤が築かれていくものと信じております。2005年は小生年男です。一期一会を座右の銘として大過なく年齢を重ねていきたいと思っております。今年の抱負をご紹介します。土、日のウォーキングを継続する事。そして太極拳をやりたい事。本年が皆様におかれまして最高の年であります様に。

■南2病棟 井上 良子



私は、昭和54年看護助手として入社しました。36歳の時に看護学生、仕事両立し免許を取得することができました。今年には60歳、年月は早いもので昔の事をなつかしく感じます。今思えば看護師となり、数多くの患者様に接し勉強をさせて頂き、主人の介護も可能で免許を取得して良かったとつくづく思います。今後も医療事故、褥瘡発生「ゼロ」患者様のケアを大事にして、南2病棟のスタッフと共に、より一層仕事に励み、友朋会の理念を肝に命じ、看護職として悔いのない人生を歩んでいきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。



■西1病棟 松園 春三

業務においては、入社5年目であるにも関わらず、知識が浅く分からない事ばかりで先輩方に指導を頂くことばかりでした。それにより患者様に不安を与えてしまう事もあったと思います。そういったこともあり、今年はいくらか知識、技術を身につけて患者様やスタッフから信頼を得られるような働きをしていきたいと思っています。

学問においては気の緩みからか、低迷な状態が続いています。仕事と学問を両立させる事は大変なことだと思いますが、酉年にちなんでより高く飛躍できるよう努力したいと思います。

■東3病棟 岸川 千代子

十二支の動物の中で唯一“鶏”が金気の動物で金運に恵まれると言われてはいますが、残念ながら金運には無縁のようです。

干支に拘らず、多くを望まず、健康で今の生活に感謝をしながら誠実な生き方をしたいと思います。そして、以前から考えていたスクリーニングに今年は参加します。異業種の方々と交流の機会を得る事で違う業界の方々から刺激を受け、新たな知識や考え方を学べるのではと楽しみにしています。



■医療福祉課 三根 知起

友朋会に中途入社し今年で9年目になります。文科系の大学を卒業し、営業の仕事をしていた私は、病院の仕事、しかもソーシャルワーカーという専門職に就くなんて夢にも思いませんでした。しかしもう新人とは言えない年齢になってしまったようです。これまでは専門職という意識がなかなか持てませんでしたが、一昨年念願の精神保健福祉士の国家資格を取得し、ようやく専門職の仲間入りできたようで、この年にして初々しい(?)気分です。まだまだ学ぶことばかりですので、36歳の新人として頑張っていこうと思います。

■言語聴覚科 馬場 薫

当院での言語聴覚療法は、主に脳卒中など脳損傷後の後遺症としての言語障害(失語症や運動障害性構音障害など)に対して言語訓練を行っています。また、言語聴覚障害を持つ方々やご家族に対し地域や家庭で十分なコミュニケーション活動ができるように助言や指導も随時行っております。今後もよりよい言語聴覚リハビリテーションが地域の皆様方に提供できるよう日々精進いたします。地域の皆様方のご指導・ご鞭撻をお願いします。



表紙のニワトリについて…当院西1、2病棟の鳥小屋で飼育されているチャボのメスです。占城(チャンバ)国から渡来したことからこの名前がついているようです。愛玩を目的とした鶏です。

祝 成人

ハタチの抱負

今年成人を迎える8名の職員。大人への一步を踏み出すにあたりそれぞれの抱負を語っていただきました。



西3病棟 立部辰徳

20歳になって新たな気持ちで社会人として気を引き締め精進していきたいと思います。



南3病棟 久富幸子

今年で成人を迎えます。落ち着いた行動を取り、周りのことを考え、責任ある行動をとっていききたいと思います。



中央1病棟 和田健介

成人となり自分の行動には責任を持つようにして、仕事では「患者様のために」を常に意識して頑張りたいと思います。



中央3病棟 北川大輔

20歳になり、一人の社会人としてマナーを守り、友朋会の職員として一生懸命頑張っていきたいと思っています。



中央2病棟 小国加奈子

「今、患者様に必要なことは何か」を常に考え、行動できる看護師になるよう努力します。



南西1病棟 岩永賢治

社会人としての自覚、責任を持ち、仕事や勉強など常に向上心をもってこれからの社会に貢献できるよう努力したいと思います。



南2病棟 糸山あゆみ

成人としての自覚と自分の言動に責任を持って、何事にも取り組んでいきたいと思っています。



中央2病棟 定松律子

私は、現在看護学校に行かせて頂いています。学んだことを身につけ、資格を取り、社会人としての責任を持っていきたく思います。